

大事協だよい

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 38 号
2012 年 10 月 31 日発行

2 学期が始まり、気がつけば早いもので年末調整の時期ですね。すっかり、涼しくもなっていました。

8 月末から、週末を狙ってくる台風は、大丈夫だったでしょうか。もう、勘弁してほしいです……。

<各地区からのお便り>

今回の原稿は、①宇検村②和泊町③奄美市東部ブロック④奄美市西部ブロックからいただきました。ありがとうございました。

①宇検村事務職員会

こんにちは、宇検村事務職員会です。宇検村は奄美大島の西南部に位置し、人口は1900名程度の小さな村です。村内には雄大な自然が広がります。奄美群島最高峰の湯湾岳（標高694.4m）があり、山頂の一部には学術上貴重な動植物が群生しているそうです。また焼内湾と呼ばれる湾が村域に大きく食い込んでおり、その湾の周囲に14の集落が点在しております。

過疎化・高齢化が進んでいる宇検村ですが、1年間を通して村・集落の伝統行事がたくさんあります。豊年祭、村民体育大会、集落対抗バレーボール大会・ソフトボール大会・敬老会など他にもたくさんの行事があり、奄美ならではの盛り上がりを見せております。

さて、事務職員会は今年度1名増の3名で構成されており、小学校1校、中学校1校、小中併設校3校を担当しております。ちなみに村内唯一の単独の中学校であります田検中学校には今年“どんと鹿児島”などのメディアで何度も特集を組まれたバレー部があります。

宇検村事務職員研修会は月に1回程度実施しており、内容は中堅職員1名に対して、若年職員2名が日頃の業務で疑問に思う点を相談し、解決してもらおうということが多いです。3名という少ない人数ですが、なんとか宇検村でも共同実施を導入しようと、会員一丸となつてがんばっているところです。

こんな宇検村事務職員会を今後もよろしく願います！

②和泊町事務職員会

和泊町立和泊中学校 松元 俊之

こんにちは、和泊町事務職員会です。

和泊町事務職員会は小学校4名、中学校2名の6人で構成されています。今年度、6名中、3人が転退職され、3人の先生方を迎えてベテラン・中堅・再配・新採とバランスのとれた年齢構成となりました。会のなかでは、分からないことをざっくばらんに相談できる和やかな雰囲気の中で楽しく研修を行っています。

研修計画は、各校持ち回りで行う町研修会が12回（4回が相互自主検査）、知名町と合同で実施する両町合同研修会が3回、あと管外研修視察を計画しています。

管外研修視察は毎年実施していて、昨年度の管外研修視察では、薩摩川内市・霧島市の小学校と鹿児島市の中学校に行き、支援室の状況・学校予算・施設等について学びました。今年度は、出水市・いちき串木野市・鹿児島市の小・中学校を訪れる予定です。

今年度の研修テーマは「学校事務支援室設置に向けた研修及び事例研修」～共同実施の研究・町費事務の効率化～です。昨年度から引き続き同じテーマで取り組んでいますが、支援室の業務は、事務職員の仕事の領域上に大きく入ってくるものです。そのため、昨年度から町研修会の中で、業務内容・法規等についての話し合いを行ってきました。7月に町教育委員会との第1回目の法規を含めての話し合いを行い、導入の部分で失敗をしないように、支援準備室の部分も含めて、町教育委員会と連携をとりながら25年4月からの実施に向けて準備を進めていきたいと思えます。

行事の多い2学期ですが、健康に気をつけ頑張っていきましょう！



～新規採用者の声～

和泊町立大城小学校 開田 真未

大城小学校に赴任して、あっという間に1学期が終わりました。面接後に通知が届き、場所を調べて衝撃を受けたことを思い出します。また、初めての仕事、初めての一人暮らしが離島で不安と緊張でいっぱいでした。

学校に行った初日から先生と呼ばれ、そう呼ばれることにとっても違和感がありました。同時に、自分が学校で働くのかと実感した瞬間でもありました。

1学期、特に4月は初めてのことばかりで慣れない毎日でしたが、先輩方が来てくださり指導していただきました。毎日のように来てくださり、電話をかけてくださったおかげで無事に乗り切ることができ本当に感謝しています。今でもわからないことばかりで電話をかけていますが、どの先輩方も丁寧に対応して下さいます。また、とても優しくおもしろい方ばかりで、良い雰囲気の中で仕事ができます。尊敬する先輩方の下で業務を覚え、少しでも近づけるように勉強したいと思います。

夏季休暇で心も体もリフレッシュし、新たな気持ちで2学期に向かおうとしていたところ、最後に大型台風が来てしまい慌ただしく2学期に突入しました。

これから、運動会など行事ごとも多く、日焼けをしながら子どもたちと一緒にがんばりたいと思います。よろしく願います。

③奄美市名瀬東部地区事務支援室 奄美市立奄美小学校・事務主査 野下 雅明

こんにちは、名瀬東部地区事務支援室です。

奄美市では今年から、県教委が推し進める「学校事務の共同実施」を3支援室・1準備室で始めました。名瀬東部地区事務支援室（共同実施）は、名瀬中学校、奄美小学校、小湊小学校、大川小・中学校、崎原小中学校の7校5人の事務職員で構成します。そして、名瀬中学校が共同実施協議会の「拠点校」として指定され学校長が会長となり、事務主幹（名瀬中学校）が室長となり「学校事務の共同実施」を運営しています。支援室の業務は「執務室」（奄美小学校・奄美小学校教頭が共同実施副会長）で行い、8月を除き毎週水曜日の午後(14:00~16:45)で実施しています。

そして、実施計画書・業務内容の目安・年間計画表は細かく作りましたが、試行もなく突然始まったので、認定事務、旅費請求の事例研修、自主検査の相互点検（7月は各学校で実施し、市備品監査準備を応援した）、市費や就学援助費事務（今年度転入者2名や期限付事務職員が2名いたので）、支援室だより作成（各学期）等の業務内容もその都度変更をして対応するようにしています。また、小規模校があるので学校行事優先と決めています。

さて、今まで各手当は学校内で処理していましたが、今後は支援室で行います。したがって、複数の事務職員（共同実施校を全員で兼務）で処理をしますので認定ミス等を防ぎ、教職員の不利益を減らせます。

ところで、「共同実施」では、事務の効率化や学校運営の事務支援の研究等を進めることになります。始まったばかりですが、5名で頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお祈りします。

④奄美市名瀬西部地区支援室 室長 上田 久夫

こんにちは。奄美市名瀬西部地区支援室です。

今年度より支援室が本格実施され4月より、月3回午後から金久中学校事務室で業務を行っています。

中学校3校・小学校6校に加配の事務職員を含め、10名で業務を行っています。他の地区に比べると経験年数の長い職員が多いです。学校は児童生徒数が700名の大規模校から20名の極小規模校まであり各学校の職務内容もさまざまな現状です。

昨年度本格実施が決定してから十分な準備も出来ないままのスタートでしたので不安はありましたが中学校校区を上方地区・中央地区・下方地区と3校ずつに分け認定事務・自主検査・支援室だよりの発行等を行っています。

年度始めの4月には80件程の認定事務を行いました。新規採用者の事例・期限付職員の実例・本土からの異動事例等離島独特の実例もあるのでお互いに相互研修をすすめながら認定事務を行っています。4月異動当初は事務職員自身が初めての離島勤務であると分かりにくい事例もあるのでお互いに情報交換を行いながら認定事務を行いました。

また、奄美市では1万円未満の物品が消耗品となるため、備品とならない算数・理科等の物品を支援室で共同入札を行いました。28品目程の物品をまとめて入札にかけるのでかなり単価が安くなりました。小さい学校であれば物品の注文数も少ないため単価も落ちにくいので予算を有効に執行するという点において、今後も業務を行っていかうと思っています。

支援室業務を行っていく中で「教育支援」という点も今後考えていかなければなりません。その点についてはこれからの研究課題と考えています。ただ奄美市の場合、多くの学校で就学援助費事務を事務職員が担当しておりその業務も煩雑であるため4月に異動してきた事務職員にとってはかなり大変な業務の一つです。これも一つの教育支援と考え今後取り組めるものを考えていかなければならないと考えています。

支援室としては9校で構成されており県内でも大きな支援室といえると思います。また大規模校から極小規模校までであるので今後どのようなことを共通の業務として行っていくことができるのかを見極めなければなりません。まだまだ支援室としては上手く機能しているとはいえませんが、この支援室のよいところは、お互い気兼ねなく話しの出来る点です。今後も全員で協力しながらすすめていければと思っています。

執務室の
金久中学校事務室
と10名の
メンバーです。



<アンケート等の御協力お願い>

5月に行われました第1回地区小・中学校事務職員研修会等のアンケートの御協力ありがとうございました。第2回についても、理事の先生方とおして実施したいと思いますので、よろしく御願ひします。

○編集後記○

今回は、与論町が中心となり、原稿集約・編集して頂きました。ありがとうございました。台風の影響も、早い復旧をお祈りします。

次号は、12月中旬発行予定です。編集担当市町村は知名町、原稿提出市町村は①伊仙町②奄美市笠利ブロック③大和村④龍郷町となっています。よろしくお祈りします。

引き続き、いろんな原稿もお待ちしていますので、こちらもよろしくお祈りします。

送り先：itsubu-e@city.amami.lg.jp

伊津部小学校・藤崎まで☆